

日添サ協第04 - 28号

平成16年 8月 3日

正 会 員 各 位

(社)日本添乗サービス協会

会 長 山 田 隆 英

第9回(平成16年度)添乗員能力資格認定試験の実施について

第9回(平成16年度)添乗員能力資格認定試験の実施につき、お知らせいたします。

この認定試験は、所属の添乗員の皆さんに対し、職業意識に目覚め自らを研鑽し、資質の向上に努力をしてもらうために、今日まで添乗員として身につけてきた知識・経験を添乗員の能力として評価すると、どの段階にあるかを客観的に確認する尺度となることを目的に実施するものであります。

各位におかれては、所属の添乗員に是非この試験へのチャレンジをお薦めいただきたくお願い申し上げます。

なお、協会は、認定された添乗員が社会的にもそれにふさわしい評価を受け、派遣会社、旅行会社からも相応の処遇が受けられるように幅広く関係者に働きかけを続けて参ります。

また、以前送付いたしました、前回の試験内容の「解説書」を1部お送りしますので、再度熟読いただき、本試験の主旨及び内容等を再確認の上、所属添乗員の方々へご案内下さるようお願い申し上げます。

以 上

平成16年度

添乗員能力資格認定試験実施要領

1. 認定の対象とする資格

一般1級、一般2級、国内1級及び国内2級

2. 認定の方法

学科試験の結果及び学科に係る事項以外の添乗業務の実施能力に関する評価を総合して資格を認定します。

なお、一般又は国内の1級の資格の認定を受けようとする者が既に2級の資格を有しているときは、学科以外の能力の評価は行いません。

3. 認定の申請資格

当協会の正会員若しくは賛助会員に所属している添乗員又は準会員であること。

添乗業務の経験年数が第1次試験を行う翌年の1月1日現在で次のようであること。

1級 5年以上、2級 3年以上

通算の添乗日数が申請締切日である10月29日までに次のようであること。

1級 800日以上、2級 400日以上

4. 学科試験の科目及びその範囲

(イ) 各級共通(1級にあっては1次の学科試験)

科目	試験の範囲
平常時添乗業務	旅程管理業務、団体管理業務、旅行サービス受領援助業務、旅行準備業務、旅行終了後業務、資金等管理業務、追加添乗業務(旅行の都度特約で基本的な添乗業務以外に追加される添乗業務)を的確に実施する能力を問います。
異常時添乗業務	交通機関の運行が大幅に遅延した場合、旅行先で災害・戦乱等が発生した場合、旅行団体の構成員に死傷者が出た場合その他異常な事態が生じたことにより旅行計画に重大な支障が生じた場合においてその事態に対処して適切な添乗業務を実施する能力を問います。

科目	試験の範囲
添乗員の地位と責任	添乗員が添乗業務を行う場合の旅行会社、旅行者、旅行サービス提供機関及び第三者との間における法的な地位と添乗業務を実施するにあたり生じる法的な責任及び権利の関係についての理解度を問います。
一般教養	歴史、地理、政治、経済、社会及び時事に関し、社会人の常識と考えられる基本的な事項についての理解と知識について問います。

(ロ) 一般1級の1次試験

科目	試験の範囲
英語 (一般のみ)	添乗員が添乗業務(平常時添乗業務、異常時添乗業務)を行うにあたり必要とされる語学力(英検準1級程度)を見ます。

(ハ) 一般2級の1次試験

科目	試験の範囲
英語 (一般のみ)	添乗員が添乗業務(平常時添乗業務、異常時添乗業務)を行うにあたり必要とされる語学力(英検2級程度)を見ます。

(二) 一般及び国内1級の2次試験

科目	試験の範囲
小論文 (添乗員の使命)	同行する旅行者が旅行に喜びを感じることができるようにするための添乗業務を実施する上での意識と工夫、日常生活における添乗員として向上するための意識と実践、添乗員生活を維持するための努力に関し、受験者の意見と実際の取組みについて問います。
面接	最上級の添乗員として旅行者の信頼と尊敬を受ける能力と人格の持ち主であるかどうかを見ます。

5. 既に実施した添乗員能力資格認定の学科試験を受け、特定の学科試験の科目について科目認定を受けている場合、その認定科目を再度受験する必要はありません。
この場合の有効期限は2年となっているため、2年を超えた場合は再度全科目受験することとなります。

6. 学科試験の実施地

- 1次 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・鹿児島・那覇
希望者の少ない実施地は、実施しないことがあります。
- 2次 札幌・東京・名古屋・大阪・福岡
希望者の少ない実施地は、実施しないことがあります。

7. 学科試験の実施日時

1次 平成16年12月 1日(水) 13:00~

種別	オリエンテーション	試験時間(平常時・異常時・一般教養・地位と責任)	休憩	試験時間(英語)
国内	15分	145分		
一般	15分	145分	10分	45分
再受験者	15分	1科目40分 (4科目再受験する場合は145分)	10分	45分

再受講者の時間割

- (1) 英語：45分
(2) 英語以外の科目：1科目につき40分

例) 平常時と異常時2科目再受験する場合、試験時間は80分となります。但し、国内の全科目を再受験及び一般の場合英語を除く4科目を再受験する場合の試験時間は、新規で受験する場合と同様145分となります。

2次 平成17年1月20日~30日の間で設定。(各地区人数が決定次第ご案内します)

8. 試験会場

受験票送付時にお知らせいたします。

9. 学科に関する事項以外の添乗業務の実施に関する能力評価

(1) 評価の方法

正会員又は賛助会員に所属する添乗員については、その正会員又は賛助会員に評価を委嘱して実施します。

(2) 評価の項目

評価は20の項目について「4」を最高とする4段階で評価します。

10. 申請の方法

正会員又は賛助会員に所属する添乗員は、正会員又は賛助会員を経由して申請して下さい。(すべて本社経由となります)

正会員及び賛助会員は、所属添乗員の申請予定者数を取りまとめ、事務局に連絡し

て願書を入手して下さい。

事務局は、受付後、受験票を申請者本人宛に送付します。

5の規定により、受験を要しない学科試験の科目がある人は申請書にその旨を記入するとともに、その科目についての添乗員能力資格認定試験科目認定証の写を添付して下さい。

申請方法の詳しい手順については別紙作業手順を参照してください。

1 1 . 申請手数料

1 級 : 5 , 0 0 0 円 2 級 : 3 , 0 0 0 円

5の規定により、受験を要しない学科試験の科目があるときは、1科目ごとに、の金額から500円を控除した額とします。

1 2 . 申請の締切り

平成16年10月29日(金)

なお、認定の申請その他認定に関する照会は下記にお願いします。

(社)日本添乗サービス協会 事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-17 朝井ビル4F

TEL 03-3432-6032 FAX 03-3431-8698

E-mail : tcsa@tcsa.or.jp

以 上